



年 組 名前

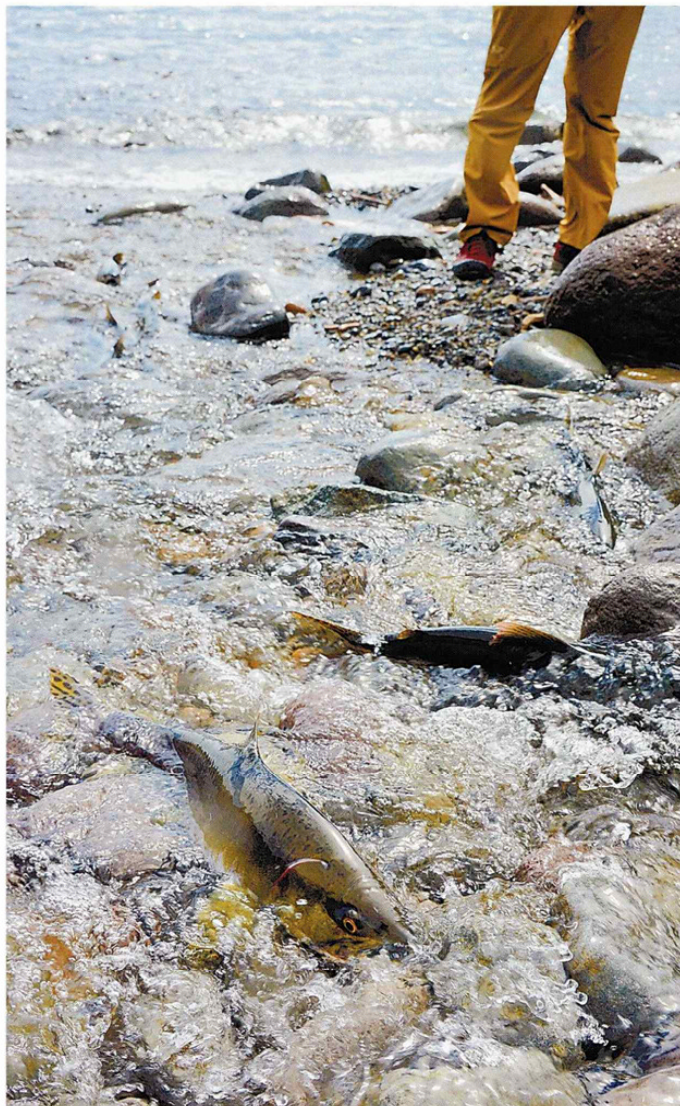
道新でワークシート

早くも秋景色

【羅臼】町内でカラフトマスの遡上（そじょう）が盛期を迎えている。道道87号の行き止まりとなる相泊から知床岬方面に8キロ北を流れるモイレウシ川の河口では6日、幅1メートル、深さ10センチ程度の川を、青緑色の背中を水面からはみ出させながら

次々と上っていく姿が見られた。標津サーモン科学館によると、カラフトマスは産卵のため8月下旬から9月にかけてオホーツク海や根室海域に注ぐ川を中心に遡上する。成魚は45〜60センチほどになり、雄は

成熟すると背中が大きく張り出すのが特徴だ。遡上の様子は町内を流れる河川の河口に架かる橋の上からも見ることができる。今月後半からはシロザケの遡上も本格化する。（小野田伝治郎、写真も）

羅臼・モイレウシ川
カラフトマス力強く

モイレウシ川を遡上するカラフトマス

2020年9月9日（水）朝刊 地方版（釧路根室版）16ページ（記事は再編集しています）

- ①遡上（そじょう）とは、川を上っていくことです。カラフトマスは、なぜ遡上するのでしょうか。5文字で答えましょう。

--	--	--	--	--

- ②今月後半から遡上（そじょう）が本格化（ほんかくか）する魚の種類（しゅるい）を書きましょう。

- ③記事の中のぼう線にある「次々と」という言葉を使って、「〇〇が、次々と△△する。」という短い文を書きましょう。